



厚生労働省福島労働局発表

平成28年6月17日

担当

福島労働局 健康安全課  
課長 清水俊明  
課長補佐 星野浩志  
電話 024-536-4603

## 厚生労働大臣表彰の本県関係者の受賞者が決定

### 7月4日に福島労働局において伝達式を行います

厚生労働省では、毎年、全国安全週間（7月1日～7日）の時期に合わせて、長年にわたり地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功績者などに対して、厚生労働大臣表彰を行っています。

本日、厚生労働省は、本年度の受賞者を発表しました。

本県関係の受賞者は以下のとおりです。

**【功績賞】**（安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人）

ふくしま てつひと  
**福島 哲仁 氏**

（福島労働局 労働衛生指導医、  
福島県立医科大学 衛生学・予防医学講座 教授）

※ 功績賞は、本県からは4年連続の受賞

**【安全衛生推進賞】**（長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人）

やまや さちこ  
**山屋 佐智子 氏**

（独立行政法人労働者健康安全機構 福島産業  
保健総合支援センター 産業保健相談員）

※ 安全衛生推進賞は、本県からは昨年に引き続き受賞

### <伝達式>

福島労働局（局長 島浦幸夫）では、上記の受賞者に対する厚生労働大臣賞の伝達式を、次の日程により行います。

○日時 平成28年7月4日(月) 午後1時30分から

○会場 福島合同庁舎 4階会議室

（福島市霞町1-46 福島合同庁舎）



## 参考1：受賞者功績

### ○【功績賞】 福島 哲仁 氏

平成17年2月2日から現在までの11年5か月間にわたり、福島労働局の労働衛生指導医（※1）として、労働局の労働衛生に関する事務に参画するとともに、毎年、県内の事業場に対する巡回指導を実施しており、その実施数は現在までに54事業場にのぼる。巡回指導において、事業者及び産業医に対して作業環境の改善や健康管理など労働衛生に関する指導を行うなど、地域の労働衛生水準の向上に多大な貢献をしてきた。

さらに、日本産業衛生学会の理事及び同学会の東北地方会長を務め、公衆衛生・予防医学にかかる講演を行ってきた。平成28年には、福島県で開催された第89回日本産業衛生学会の企画運営委員長として、震災・原発事故がもたらした多くの問題と関連したシンポジウム、講演等を盛り込み実施、成功させた。

※1. 「労働衛生指導医」とは、労働安全衛生法第95条を根拠とし、労働衛生に関し学識経験を有する医師のうちから、厚生労働大臣が任命して各都道府県労働局に置かれる。任命された労働衛生指導医は、労働安全衛生法に基づき、事業場が実施した作業環境測定の結果を踏まえて作業環境改善に係る意見を述べたり、労働安全衛生法で定める有害業務に係る特殊健康診断の臨時の実施に係る意見を述べることができる。

### ○【安全衛生推進賞】 山屋 佐智子 氏

昭和46年10月より平成14年2月まで30年5か月間にわたり、キャノン株式会社福島工場の健康管理室の産業看護職として安全衛生業務に従事し、事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした。

平成14年2月より14年5か月間にわたり、独立行政法人労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター（※1）の産業保健相談員として、衛生管理者や産業看護職などからの産業保健に関する毎週1回の窓口相談対応をはじめ、産業医学研修会、衛生管理者研修会、災害防止団体や事業場で実施する産業保健研修会における講師、メンタルヘルス対策における事業場の産業保健スタッフからの窓口相談の対応やメンタルヘルス研修会（カウンセリング）の講師を担当するなど、福島県内の事業場や産業医、衛生管理者及び産業看護職など産業保健スタッフの産業保健水準の向上発展に多大な貢献をしてきた。

また、福島県産業看護協議会（職域の保健師や看護師で構成する任意団体、平成20年7月設立、会員30人）の幹事として会の運営に参画し、毎年2回の産業看護職を対象とする研修会を開催するなど、産業看護職のレベルアップにも貢献してきた。

※1. 「独立行政法人労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター」とは、厚生労働省所管の独立行政法人で、勤労者医療事業（労災病院）、産業保健事業、未払賃金立替払事業などを行っている。産業保健総合支援センターは、47都道府県に設置され、産業保健に関する相談、研修、メンタルヘルス対策、産業保健調査研究事業を行っているほか、県内8地域に地域産業保健センターを設置し、小規模事業場に対する産業保健活動を支援している。

## 参考 2 : 本県の厚生労働大臣表彰受賞歴

年度	優良賞	奨励賞	団体賞	功労賞	功績賞	安全衛生推進賞
28					1	1
27		1			1	1
26		1			1	
25	1				1	
24						
23						
22						1

## 参考 3 : 平成 2 8 年度厚生労働大臣表彰受賞事業場・受賞者数【全国】

- (1) 優良賞 (10 事業場)  
安全衛生に関する水準が特に優秀で、他の模範と認められる事業場
- (2) 奨励賞 (11 事業場)  
安全衛生に関する水準が優秀で、改善の取組が他の模範になると認められる事業場
- (3) 団体賞 (該当なし)  
安全衛生活動を活発に推進し、関係事業場の安全衛生水準の向上に顕著な功績があった団体
- (4) 功労賞 (2 名)  
長年、労働安全衛生に尽くし、日本の安全衛生水準の向上に多大な貢献をした個人
- (5) 功績賞 (25 名)  
安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人
- (6) 安全衛生推進賞 (9 名)  
長年、安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人
- (7) 善行賞 (1 名)  
作業現場における異常事態の発生に際し、人命を救助し得た個人